

教員名	長谷川 武弘 (HASEGAWA Takehiro)
所属	子ども発達教育研究センター
学位	博士(医学)(2006 東京女子医科大学)
職名	リサーチフェロー
URL/E-mail	http://www.kodomo.ocha.ac.jp/~ccaef/index.html / thase@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

障害児保育・教育 / 脳機能計測 / 発達神経心理学 / 障害児コミュニティ支援

◆主要業績

・呉東進 長谷川武弘 近赤外分光法による脳血流、組織酸素代謝の評価 周産期医学 35:1481-1486,2005

◆研究内容

乳幼児期の脳機能の発達の变化について、以下の2つの側面から研究をしている。

1) 新生児、乳児期のクロスモーダルな脳機能に関わる発達の变化の検討。

2) 幼児期のメディア視聴時の脳活動状況の検討

1) は東京女子医科大学乳児行動発達学研究所との共同研究として、生後数日の新生児と生後1ヶ月の乳児が哺乳を行っている最中の脳活動の様子を、多チャンネル近赤外分光分析法を用いて計測した。体動などで計測信号が不安定なものを除き、現在解析を進めている。

2) は科学技術振興機構の研究費を元に、幼児があらゆる種類のメディアを視聴している際の脳活動の様子を、帽子型の多チャンネル脳波計を用いて計測する。現在は幼児の計測の基礎データとなる成人の計測を始めたところである。

◆教育内容

アプリカ寄付講座にて開設の下記の授業を担当した。

「障害児保育教育論Ⅰ・Ⅱ」

近年、保育園、幼稚園現場では、統合保育として障害児が健常児と一緒に活動する機会が増えている。これをうけ、小学校における障害児の教育を参考に「障害」のとらえ方、障害児の保育について考える授業を行った。

「保育実践研究Ⅰ・Ⅱ」

受講生個人が保育・教育に関わるテーマを見つけ、調査研究を進める力を付けることを目的に、特に心理学の研究法を中心に講義、実習を行った。

「保育者の情報学Ⅰ」

保育現場においてもコンピューターの導入は進められており、保育士においてもこれに対応できる技能を身につける必要がある。コンピューターの基本的な操作方法から簡単なポスター作成の実習を行った。

◆将来の研究計画・研究の展望

新生児・乳児期のクロスモーダルな脳機能計測を，新たな課題を設定して進め，ヒトの脳における多感覚情報処理に関する初期の発達的变化を描出していく．

また，障害児のコミュニティ支援について，現在関わっている地域をモデルケースとした新たな支援ネットワーク形成に関する研究を行っていく予定である．

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・音楽と脳機能の関係に関する研究
- ・乳幼児の脳機能，行動発達に関する研究

◆受験生等へのメッセージ

障害児の保育や教育に興味がある方，音楽と脳，乳幼児の脳や行動の発達に興味がある方，ぜひ一緒に研究しましょう．